



駐名古屋大韓民国総領事館 鄭美愛 総領事 インタビュー

駐名古屋大韓民国総領事館総領事に鄭美愛（ジョン・ミエ）氏が3月18日付で、就任した。総領事館の管轄地域は愛知、岐阜、三重、福井の4県で、鄭総領事は着任早々、精力的に各地を回り、首長らと会談した。名古屋常駐は初めてというが、日韓親善の発展のために、名古屋市と韓国の都市との友好関係締結に注力するのが目標という。また、「管内に住む韓国人の安全確保と権益増進に努め、訪れやすい総領事館にしたい」と語った。鄭総領事に抱負などを聞いた。

—抱負をお聞かせください。初の女性総領事ですね。

鄭美愛総領事 名古屋初の女性総領事とよく言われますが、女性というところにフォーカスを合わせるのではなく、ただ、「信頼できる総領事」と皆さんに言われたと思っています。大きな成果を出すことが目的ではなく、総領事としてやるべきことをやっていきたいですね。まずは管轄地域内に住んでいる4万人を超える韓国人の安全と権利を守ることが第1の役割です。それから皆さんがいつでも連絡しやすい、気軽に訪れることができる領事館にしたいです。第2には交流を大事にしたいですね。今ある地域交流、市民交流をちゃんと継続できるようサポートし、新しい交流の機会も作っていきたくて考えています。

—新しい交流とは。

鄭総領事 総領事館の所在地、名古屋市と韓国の自治体との友好交流、姉妹都市交流ができればいいですね。以前、機会はあったが、国家間の外交関係が影響したようです。韓日関係は改善に向かっていて順調ですし、広沢一郎名古屋市長も交流に前向きだと思っています。私の任期中に実現できればいいですが、せめて土台作りをしたい、という気持ちです。

—姉妹都市提携なら相手は韓国のどの都市ですか。ご出身の仁川広域市はどうですか。

鄭総領事 仁川なら大変嬉しいです。姉妹都市提携となると、市議会の承認が必要ですが、友好交流でしたら、議会のプロセスも不要でしょうから友好交流から始めては如何がかと思います。何よりも双方の意思が確認されることが重要です。

—名古屋の印象は。

鄭総領事 名古屋と言えば、韓国でもトヨタ自動車の本社がある愛知県の県庁所在地として知られ、ノーベル賞受賞者を多数輩出した科学の都市というイメージが強かったのですが、実際に住んでみたら名古屋城や徳川園など歴史と伝統を感じられるところがたくさんありました。それで先端科学と製造業に歴史と伝統が混ざった素晴らしい、魅力的な都市との印象を持ちました。週末にはいろいろな所を歩いていますが、公園も多く、ショッピングモールなどでは市民の活気と力動性、豊かさも伝わります。

—管内の感想を。

鄭総領事 各地、各分野、各レベルで韓国と交流を続けていることを改めて知りました。さらに、皆さんが韓国との交流を大事にして、それを持続していくことへの自負心と強い意志が感じられることが多かったです。一例として、岐阜県大垣市は韓国南部の中心都市、昌原(チャンウォン)市と1995年から交流していました。交流を始めた時には二つの市がほぼ同じ規模で